



長崎県薬剤師会にて

「薬局間医療・衛生材料在庫情報共有システム」

を構築する事が決定しました。

目的

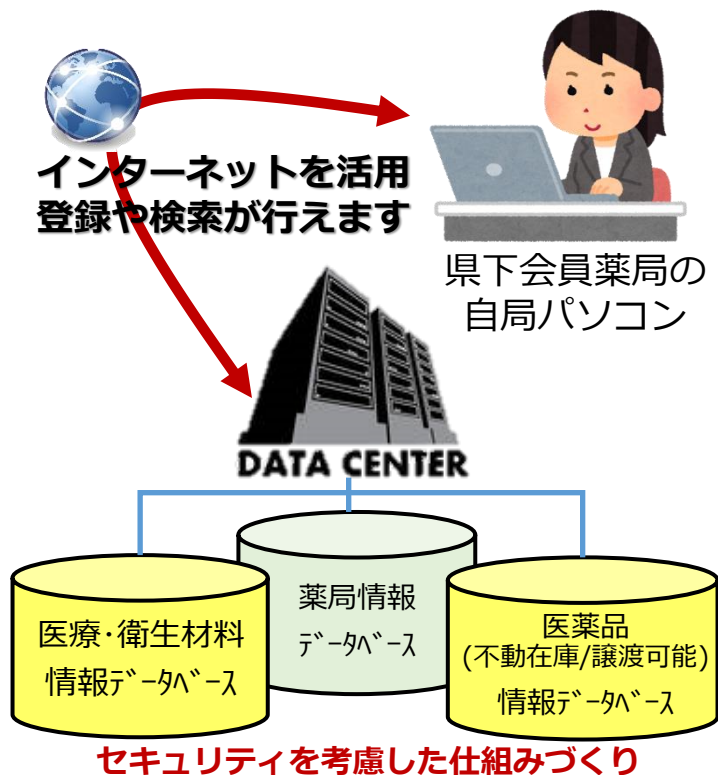
現在、保険薬局での医療・衛生材料の販売促進が国の施策として進められる中、薬局毎の医療・衛生材料の取り扱いや不働在庫、在庫保管スペース等に苦慮している現状があります。

本システムでは、会員薬局の医療・衛生材料の在庫情報を、インターネットを使って登録検索処理ができます。このシステムを活用することで、会員薬局間の『情報共有』を行い、それらの在庫を「効率的に取り扱える」環境づくりを目指します。

併せて各薬局で持つ医薬品(不働在庫分/譲渡可能分)情報も、本システムで同様に共有化し「在庫廃棄」を減らす事にも取り組みます。

概念図

県下会員薬局一斉での利用を目指しましょう



医療・衛生材料

医薬品(不働在庫/譲渡可能)について



ここが ポイント

- ①簡単に商品登録が可能
> 共有したい商品が登録できます
- ②簡単に商品検索が可能
> 共有登録された商品が探せます
- ③簡単に在庫所有先に連絡可能
> 所有薬局に簡単に連絡できます
- ④商品有効期限の管理も可能
> 有効期限アラート通知もします

多くの薬局が参加する事で
登録情報量が多くなり
一層便利に活用できます

平成29年3月の本稼働に向けて構築プロジェクトが始動しました